

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10624004				
授業名	伝統文化と民俗世界 C	形態	講義	単位	2
担当教員	大藪 海				
開講学期	2018年度 前学期	曜日・時限	月曜4限		
授業目的	現代における伝統文化や民俗について、現状とその歴史的背景を理解する。 日本の文化や歴史について、興味・関心を持てるようにする。				
授業内容	本授業では、能や歌舞伎などの伝統芸能はもちろんのこと、私たちが普段生活しているなかで行っている慣習・しきたりといった生活文化も伝統文化として捉え、それらが現在どのように行われているのかについて、自身の経験に加え、映像・画像資料などを活用することにより理解を深める。さらに、それら広い意味での伝統文化がどのようにして形成されてきたのか、歴史資料を通じて学ぶ。				
到達目標	伝統文化の起源や歴史的背景に関する知識を習得する。 伝統文化は多様なものであり、私たちの日常にも多く存在することを認識・理解する。 日本古来の伝統芸能を体験することにより、それらの価値を再認識し、さらに他者へ説明できるようにする。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	講義形式を原則とし、映像・画像資料を多く用いる。ただし授業内ではアクティブラーニングの手法を用い、受講者に対して質問をしたり、内容に関する意見の発表を求めたりする。また、事前・事後学習について、その成果をレポートの形で提出してもらうこともある。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、合計15回の授業で、事前学習30時間、事後学習30時間の計60時間が必要となる。				
テキスト	テキストは使用せずにプリントを配布する。参考文献は各回の授業内容に示したもののほか、別途適宜指示する。				
評価方法	授業への参加姿勢（リアクションペーパーの提出）と、授業内で実施する小テストに加え、提出されたレポートにより総合的に評価する。				
評価基準	授業への参加姿勢：30%、小テスト：50%、レポート：20%				
試験・レポート等のフィードバック	提出されたレポートおよび小テストについては、受理・実施回もしくはその次回に講評を行う。				
注意事項及び履修条件	当然のことであるが、授業途中の入退出は認めない（授業途中での入退出が確認された場合、当該授業回は欠席したものとみなす。特別な事情がある場合は教員まで申し出ること）。また授業中は、私語等周囲の迷惑となるような行動は厳に慎むこと。注意しても改善が見られないようであれば、教室から退室してもらう。授業はテレビなどは異なり、教員と学生が直接相対する場所である。大学生として恥ずかしくない態度で授業に臨むこと。				
S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満					
第1回					
事前学習	伝統文化と思うものをいくつかピックアップする。				
授業内容	【暮らしのなかに息づく伝統文化】 現代の日本人の暮らしのなかにみられる伝統文化について学ぶ。				
事後学習	自身の家で行っている年中行事を書き出し、それらをいつから行っているのかを家族に聞くなどして調べる。				
参考文献	飯倉晴武『日本人のしきたり』（青春出版社、2003年）				
第2回					
事前学習	事前に指定したシチュエーションに合わせて手紙を書く。				
授業内容	【手紙を書く—そのしきたりの歴史—】 現代の手紙・封筒の書き方の起源が中世にあることを、歴史上の人物が出した手紙（古文書）の読解を通じて理解する。				
事後学習	配布する資料を読んで理解した上で、博物館等の展示で古文書に親しむ。				
参考文献	丸島和洋『戦国大名の「外交」』（講談社、2013年）、山田邦明『戦国のコミュニケーション』（吉川弘文館、2011年）				
第3回					
事前学習	普段自身が贈物をする時期や相手を書き出す。				
授業内容	【贈り物をする—贈答儀礼からみる日本人のいとなみ—】				

	現代における贈答の機会について整理し、前近代の贈答儀礼との共通点・相違点を探る。
事後学習	授業で扱わなかった贈答儀礼のなかから一つを選び、本やインターネットを使用して、その行われ方や歴史について調べる。
参考文献	桜井英治『贈与の歴史学』（中央公論新社、2011年）
第4回	
事前学習	自らの名前の由来を調べる。
授業内容	【名前を付ける・誕生日を祝う—一人の生誕にまつわる儀式—】 昔はどのように命名がなされたのか、また誕生日を祝うことはいつからどのようにして行われていたのかについて学ぶ。
事後学習	自分以外の人物の名前の由来を調べる。
参考文献	大藤修『日本人の姓・苗字・名前 人名に刻まれた歴史』（吉川弘文館、2012年）
第5回	
事前学習	大学周辺の神社仏閣について、その場所や歴史を調べる。
授業内容	【お詣りをする—日本人と神仏の関係—】 初詣にみられるように、現代の日本人と神仏の関係はとても深いといえる。現代生活における日本人と神仏の関係、さらにはそのような関係が築かれた歴史的背景について考える。
事後学習	授業の内容を踏まえて、大学周辺の神社仏閣にお詣りをする。
参考文献	村越英裕監修『仏教のしきたりと季節の伝統行事』（笠倉出版社、2014年）
第6回	
事前学習	お茶の種類と産地について調べる。
授業内容	【お茶を飲む—「闘茶」について知る—】 国指定重要無形民俗文化財「白久保のお茶講」を手がかりとして、婆娑羅（バサラ）たちに愛された「闘茶」について学ぶ。
事後学習	「闘茶」を実際に体験する。
参考文献	須田努・清水克行『現代を生きる日本史』（岩波書店、2014年）
第7回	
事前学習	現代の結婚で行うしきたりにはどのようなものがあるのか調べる。
授業内容	【結婚する—結婚に関するさまざまなしきたり—】 前近代の結婚と現代の結婚に関する儀式について、その共通点と相違点を学ぶ。
事後学習	授業の内容を踏まえて、家庭内における女性の立場の、歴史的な変化について考える。
参考文献	飯倉晴武『日本人のしきたり』（青春出版社、2003年）、須田努・清水克行『現代を生きる日本史』（岩波書店、2014年）
第8回	
事前学習	現代の祇園祭について、本やインターネットで調べる。
授業内容	【描かれた京都・祇園祭—絵解き『洛中洛外図屏風』—】 現存最古の洛中洛外図屏風である『洛中洛外図屏風（歴博甲本）』を題材として、中世の京都や祇園祭について学ぶ。
事後学習	webサイト「国立歴史民俗博物館 洛中洛外図屏風「歴博甲本」人物データベース」にアクセスし、指定した人物がどこにいるのか探し出す。
参考文献	webサイト「国立歴史民俗博物館 洛中洛外図屏風「歴博甲本」人物データベース」 http://www.rekihaku.ac.jp/rakuchu-rakugai/
第9回	
事前学習	東大寺修二会について、本やインターネットで調べる。
授業内容	【古都奈良の祭—東大寺修二会（お水取り）—】 古代より執り行われてきたとされる東大寺修二会（お水取り）について、映像資料などを通じて理解を深める。
事後学習	修二会以外の、奈良で行われている伝統行事のなかから一つを選び出し、それが現在どのように行われているのか調べる。
参考文献	佐藤道子『東大寺お水取り 春を待つ懺悔と祈りの法会』（朝日新聞出版、2009年）
第10回	
事前学習	これまでの授業内容を復習する。
授業内容	第1回から第9回までの内容について小テストを実施する。また、これまでの授業で触れなかった伝統文化や祭について取り上げる。
事後学習	今回の授業で触れた伝統文化や祭について本やインターネットで調べ、できれば実際に参加してみる。

参考文献	『歴史手帳2017』（吉川弘文館、2016年）
第11回	
事前学習	指定した演目について内容を調べる。
授業内容	【伝統芸能に触れる①—能楽（能・狂言）—】 能楽に関する基礎的な知識を確認した上で、映像資料を用いて実際に能楽を楽しむ。
事後学習	実際に鑑賞してみたいと思った演目について、その理由と演目の内容を、200字程度にまとめて提出する。
参考文献	山崎有一郎監修『初めての能・狂言』（小学館、1999年）
第12回	
事前学習	指定した演目について内容を調べる。
授業内容	【伝統芸能に触れる②—歌舞伎—】 歌舞伎に関する基礎的な知識を確認した上で、映像資料を用いて実際に歌舞伎を楽しむ。
事後学習	実際に鑑賞してみたいと思った演目について、その理由と演目の内容を、200字程度にまとめて提出する。
参考文献	犬丸治監修『歌舞伎入門 役者がわかる！演目がわかる！』（世界文化社、2014年）
第13回	
事前学習	指定した演目について内容を調べる。
授業内容	【伝統芸能に触れる③—文楽（人形浄瑠璃）—】 文楽に関する基礎的な知識を確認した上で、映像資料を用いて実際に文楽を楽しむ。
事後学習	実際に鑑賞してみたいと思った演目について、その理由と演目の内容を、200字程度にまとめて提出する。
参考文献	松平盟子『文楽にアクセス 劇場に行こう』（淡交社、2003年）
第14回	
事前学習	指定した演目について内容を調べる。
授業内容	【伝統芸能に触れる④—落語—】 落語に関する基礎的な知識を確認した上で、映像資料を用いて実際に落語を楽しむ。
事後学習	実際に鑑賞してみたいと思った演目について、その理由と演目の内容を、200字程度にまとめて提出する。
参考文献	橘左近『知れば知るほど面白い古典落語 落語入門』（実業之日本社、2014年）
第15回	
事前学習	これまでの授業内容を復習する。
授業内容	【伝統芸能に触れる⑤—落語その2—】 落語を扱ったアニメを鑑賞し、落語に親しむ。 また、第11回から第14回までの内容について小テストを実施する。
事後学習	劇場や寄席に足を運び、伝統芸能を鑑賞する。
参考文献	webサイト「日本芸術文化振興会 文化デジタルライブラリー」 http://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/
※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。	
ディプロマポリシー	<p><DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p><DP1-（1）> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p><DP1-（2）> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p><DP1-（3）> 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p><DP1-（4）> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>